



## お客様や沿線地域とともに目指す、2020年度に向けた環境への取組

東京メトログループは、首都東京の都市機能を支える鉄道事業者として、2020年度に向けて、お客様や沿線地域とともに東京の環境負荷低減につながる様々な取組を実施していくための長期環境戦略「みんなでECO.」を2013年度に策定しています。

「安全で質の高い鉄道サービスの提供」を着実に推進する一方、2020年度の当社の全事業における総エネルギー使用量を2009年度実績より増加させないことを目標に掲げ、3つのテーマに基づき、積極的な環境保全活動を展開しています。

### 3つのテーマに基づいた環境保全活動

#### 東京メトロ自らのエコ化

エネルギー消費が少ない車両や機器の導入、再生可能エネルギーの活用による地球温暖化防止、リサイクル・リユースや資源の効率的な利用による廃棄物削減、振動・騒音の低減などの取組をこれまで以上に積極的に推進し、事業活動における環境負荷を可能な限り低減していきます。

##### 【主な施策】

- 地球温暖化防止
    - 鉄道事業の省エネ化
    - 関連事業の省エネ化
    - 再生可能エネルギーの活用
  - 廃棄物の削減、資源消費の削減
  - 騒音・振動の低減
  - 環境汚染の予防
- \* 詳細については、P.40～44をご参照ください。



銀座線1000系

#### 東京メトロを使ってエコ

自らの環境負荷低減に並行して、「安全で質の高い鉄道サービスの提供」を着実に推進していきます。これにより、地下鉄の利便性向上を図り、より多くのお客様に安心してご利用いただくことで、環境負荷を可能な限り低減していきます。

##### 【主な施策】

- 公共交通の利用促進
    - 円滑な移動の実現、バリアフリー設備整備の推進
    - 環境負荷の少ない地下鉄の利用促進
    - 情報発信ツールを活用した適時適切な情報の提供
- \* 詳細については、P.19～24、P.45をご参照ください。



エレベーター

#### 沿線地域とエコ

「東京とともに成長する」との観点から、沿線地域と連携した環境保全活動を推進していくことで、東京に集う人々の活き活きとした毎日に貢献していきます。

##### 【主な施策】

- 地域連携による環境保全
    - 沿線地域と連携した環境保全活動の実施
    - 沿線地域の環境緩和、生物多様性の保全
- \* 詳細については、P.46をご参照ください。



地域清掃活動

### 2020年度を目指す姿

「東京メトロを使ってエコ」において円滑な移動の実現やバリアフリー設備整備の推進等の利便性向上施策を実施していくとともに、近年の地球温暖化等の気候変動の影響により、何も対策を講じなければ、エネルギー使用量はより増加していくことが想定されます。

そこで、「東京メトロ自らのエコ化」で掲げる積極的な省エネルギー施策や再生可能エネルギーの活用に取り組むことで、2009年度実績(10,438千GJ)より、エネルギー使用量を増加させないように努めます。エネルギー使用量を抑制することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減も図ります。

#### エネルギー使用量の目標と実績

